☆．岩手県における調査結果概要

○岩手県内を流れる河川とダムは、多様かつ貴重な陸上昆虫類が生息し、良好な生息環境を維持！
○外来種のブタクサハムシを北上川、四十四田ダム、御所ダムで初確認！在来種への影響が懸念される。

【岩手県内調査結果概要】

下表に2巡目調査と平成16年度調査の種数について示します。

前回調査と今回の調査を比較すると、今回調査を実施したすべてのダムにおいて陸上昆虫類が前回調査よりも多く確認されました。また、北上川では、若干の増加はあるものの、大きな変化は見られません。一方、特定種では、前回調査（2巡目）で確認されていなかった準絶滅危惧種のオオムラサキが、四十四田ダムと御所ダムにおいて、新たに確認されました。このように、岩手県内の河川とダムは陸上昆虫類にとって、良好な環境を保っており、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

岩手県河川・ダム概略位置図



表　岩手県内の河川とダムにおける調査実施項目と確認された種

河川名 ダム名	調査項目※1) 陸上昆虫類等	
調査年次	2巡目	H16
北上川※2)	2092	2096
	7	7
石淵ダム	865	1371
	1	5
田瀬ダム	913	1449
	3	5
湯田ダム	825	1628
	4	5
四十四田ダム	1012	1449
	0	4
御所ダム	1072	1479
	2	8

注1）表中の上段の数字は確認された全体の種数を、下段は特定種の種数を示しております。
注2）北上川における陸上昆虫類等調査の種数は、今回調査を実施した岩手県分側の調査結果を含む北上川全体の種数を示しております。

【各調査項目のポイント】

◆陸上昆虫

オオムラサキ



写真：国土交通省
北上川ダム統合管理事務所

北上川で平成１６年度に陸上昆虫類等調査を実施した結果、確認種が２０９６種であり、調査を実施した全国２９河川の中で、北陸地方の阿賀野川に次いで2番目に多い河川でした。特に、北上川はゲンジボタルとヘイケボタルの両種が確認されました。これは、全国的にも珍しく、北上川は全国４河川のうちの1河川でした。特定種では、前回の調査から確認されている絶滅危惧Ⅰ類のヒヌマイトトンボや準絶滅危惧のオオムラサキが北上川において引き続き確認されました。一方、ダムでは四十四田ダムと御所ダムにおいて、準絶滅危惧種のオオムラサキが新たに確認されました。

【外来種の傾向】

◆陸上昆虫

ブタクサハムシ



写真：国土交通省
北上川ダム統合管理事務所

平成１６年度の陸上昆虫類等調査を実施した北上川、四十四田ダム、御所ダムで、外来種のブタクサハムシを確認しました。ブタクサハムシは東北地方全体では１９９９年頃から生息が確認されていますが、これらの河川とダムでの確認は初めてとなります。

ブタクサハムシは北米産の種で、１９９６年に千葉県で発見されて以降、ほぼ全国で確認されています。同じく外来種のブタクサやオオブタクサなどの植物を食草としており、これらの植物の分布拡大とあわせて分布を拡大していく傾向が伺えます。今後も、継続的にモニタリングを実施していく必要があります。なお、その他岩手県内で陸上昆虫類等調査を実施した田瀬ダム、湯田ダム、石淵ダムではブタクサハムシは確認されませんでした。